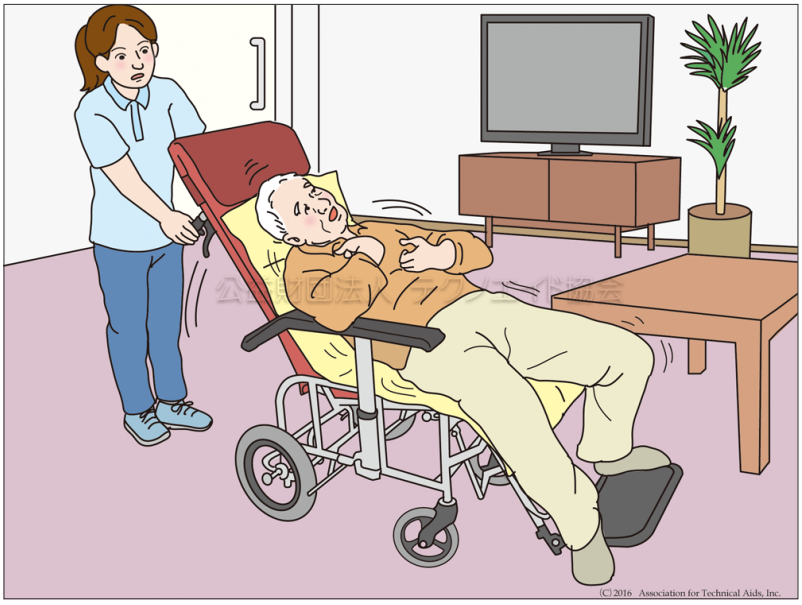
Case：320

## リクライニング車いすにバスタオルを敷いて座っていたところ、ずり落ちそうになる

### 場面の説明

リクライニング車いすにバスタオルを敷いて座っていたところ、ずり落ちそうになる




| | |
|---|---|
| 利用シーン | 移動 |
| 主な利用場所 | リビング・居間 |
| 介護保険の種目 | 車いす |
| 分類コード(CCTA95) | 122190(姿勢変換機能付き車いす) |
| 介護テクノロジー | ― |
| 二次元バーコード | |

### 解説

重度の全身性機能障害の人の車いす座位の時に、移乗時に使用したバスタオルを敷きっぱなしにすることはよくありますが、一度リクライニングを倒した状態から戻そうとすると、前方へずれていくことがあります。 また、着衣の素材によってもすべりやすくなります。
チルト機能のある車いすに変更し、座面を後方に少しチルトした状態から、リクライニングを戻すと、前方へのずり落ちは防げます。

### 参考要因

人：ずり落ちない介助方法をしらなかった
モノ：車いすにチルト機能がついていなかった
モノ：タオルを敷くことですべりやすくなっていた

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.